

年 組 名前：

サウナ軸に周遊観光

山静信3団体が連携

連携協定を結んだ3県のサウナ団体
関係者
＝市川三郷町山保



東京圏から誘客図る

山梨、静岡、長野の3県でサウナを通じた地域活性化に取り組む団体が、サウナを軸にした広域周遊観光の推進に向けて連携協定を締結した。共同プロモーション

〈杉原みずき〉

の展開や周遊施策などを計画。豊かな自然資源を生かしたアウトドアサウナを中心に東京圏から誘客を図り、新たな観光消費につなげる狙い。連携事業の第1弾として、今冬をめどに、各県のサウナを巡るスタンプリーの実施を検討している。

協定を結んだのは、山梨県アウトドア聖地化実現協会（赤尾守敏会長）と信州サウナ同盟（勝又健彦代表）、静岡サウナ協議会（川井敏行代表理事）。広域的にサウナツーリズムを展開することでサウナの認知度を高めるとともに、年間を通して利用者の平準化を図り、持続可能な観光振興の実現を目指す。

協定では協力内容として、各県のサウナや温浴施設の情報共有とネットワーキング、共同プロモーションの実施など8項目を盛り込んだ。サウナと自然体験を組み合わせた連携商品の造成も想定している。

第1弾のスタンプリーは、交通ネットワークを活用して3県のサウナを巡ってもらう内容で、各県からアクセスのいい3、4カ所をピックアップして行う。条件を達成した人にはオリジナル特典を用意する予定。冬季の集客につなげるため、早ければ11月ごろに始めたい考え。

15日に各団体の代表らが参加し、市川三郷町の「四尾連湖 龍雲荘キャンプ場」で締結式を行った。勝又代表は「水がきれい、山もあり、アウトドアサウナを楽しむ環境がある3県が連携して、サウナの魅力を発信していきたい」と話し、静岡協議会の発起人神田主税さんは「将来的にはインバウンド（訪日客）需要も取り込み、日本の魅力を海外に伝えられるようにしたい」と展望を語った。

赤尾会長は「3県が全国からサウナ好きが集まる地域になるといい」と期待を込めた。

(2025年7月23日付 山梨日日新聞7面)

問1 山梨、静岡、長野の3県で、サウナを通じた地域活性化に取り組む団体が、連携協定を

結びました。協定を結んだ3団体の名前を教えてください。

.....

問2 連携協定は、広域的にサウナの認知度を高めるほかに、何を狙っていますか。

.....

問3 静岡協議会の神田さんは、どのような展望を話しましたか。

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2025 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.